

(様式第8号)

事業報告書（令和4年度）

事業名 インターネットラジオを活用して「社会貢献の輪」をつくろう！

団体名 一般社団法人コノヒトカン 担当者名 東本 孝

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

日時 2022年6月～2023年2月

場所：インターネットラジオ放送局ゆめのたね 岡山市北区奉還町

参加対象者：

コノヒトカンと関わりのある方(食品加工会社、料理人、支援企業、支援先の団体など)

人数；ゲスト総勢 21名

内容：インターネットラジオ「ゆめのたね」に出演していただき

コノヒトカンとの関わりをお聞きし、30分間でコノヒトカンとの活動を振り返る。



2. ESD の視点

①事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか

岡山高校の生徒や岡山大学の学生をゆめラジオに招いて各々がしている活動を聞いたうえでコノヒトカンとどう関わったか？を聞きラジオ番組を放送しました。番組のなかでコノヒトカンとの関わり合いが、さらに社会貢献を拡げて行く為に必要だと気付いてもらいました。

②どのように学び合いを取り入れたか

上記の生徒、学生は私たちが 2022. 11. 19 に主催しました第 1 回コノヒトカン 1000 缶プロジェクトの開催にあたりボランティアも引き受けてもらい、そのボランティア活動を通して学びの機会になったと番組で伺うことができました。

③どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか

コノヒトカンと共に活動をする事を目標とし
一緒に活動した中でのラジオ出演を依頼した。

そして今後更に社会貢献活動や進学や就活を見据えています。

3. 取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）

取組の成果に関しては、コノヒトカンの周知に至った事、また今活動が岡山県、更には中国地方の中で「2022 おかやま SDGs アワード」を含め 5 つの栄えある賞を受賞できました事に繋がりました。

また成果把握の方法として出演者や授業を受講した生徒たちにアンケートを実施しました
※アンケートは添付書類にて

4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域の ESD の取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）

今後の展開としましては、初心と変わらず

インターネットラジオ「ゆめのたね」を活用して、SDGs を掲げる企業や教育関係者、教育を受けている子どもたちと共にみんなで考えられる、団体独自の発信方法を構築していく。

最終的には、団体の諸活動を通じて、困難な状況にある子どもを支えるだけでなく、子どもも参加できる社会貢献活動を生み出し、子どもも大人もみんなで支え合うことができるしくみをつくりたい。

3000人を笑顔に! コノヒトカン 1000缶プロジェクト 2022.11.19

コンテストに参加しての感想、意見、コメント

【高校生】

・コンテストの参加によって、準備過程の間にフードロス問題や地域で取り組んでいる活動への理解が深まって大変よかったです。開催していただきありがとうございます。このような問題に対して見聞きして認識はあったものの、自分自身に可能な行動について具体化させる機会がなかなかないので、こうしてコノヒトカンに出会えてよかった。

・課題解決アイデアを考えて実行に移すのが難しかったけれど、協力しながら頑張った。この活動を進めていくうちにコノヒトカンの良さに改めて気づくことができた。実際にコノヒトカンを食べた時、廃棄する食べ物で作ったとは思えないほど美味しく、この味をいろんな人に味わってもらいたいと思った。

・ポインターを使えるチームと使えなかったチームがあるのに少し納得がいかなかった。とても良い体験になったのでまた参加したいと思った。

・このようなプロジェクトに参加するのは初めてだったので、自分たちでアイデアを考えて実際にプレゼンをしたりして様々なことを学べたし、スキルを身に付けることができました。そのような機会はなかなかないのでとても貴重で楽しかったです。ありがとうございました。

・コノヒトカンがおいしかったです。課題解決の学びを深めることができました。素晴らしいコンテストをありがとうございました。

・とても楽しかったです。いろいろな同世代の人の意見を知れてよかったです。

・今回このようなコンテストに参加させていただきありがとうございました。私にとっては初めてのプレゼンコンテストで、とても貴重な経験ができてよかったです。これからもコノヒトカンの存在を広めていけるように活動していきたいと思います。今回悔しい部分などもありましたが、失敗を成長に繋げていけるようにがんばります。

・このコンテストに参加したことで食について調べるきっかけになったし、発表する力を身に付けることができ、他の高校が考えたアイデアも知ることができ、良い経験になった。

・あらためて自分たちの住んでいる地域の課題を知る良い機会になりました。コノヒトカンには無限大の可能性があるなと思いました。スライドや文書の作成全体の更新など普段なかなかないので成長できる機会になりました。

・スライドが表示されなくなったり、動かなくなると発表が止まってしまう団体がいくつかあったので次回は改善されていると嬉しいです。

・フードロスが問題となっていることを知っていても、実際に解決するために起こせる行動が限られていて、案があってもそれを発表する機会がないと思っていたので、コノヒトカンのプロジェクトを通して案を発表することができて、他の学校の案を聞くことができ、新しい発見することができて、とても楽しかったです。

【一般観覧者】

・機材の調子が悪いところが残念でした。せっかく頑張っていたので、トラブルのないよう運営をしてあげてほしいと思いました。交流の時に学校名を胸に貼っていくといいかもしれません。

・高校生の様々なアイデアに本当に感心しとても勉強になりました。

・生徒も本当に刺激を受けたと思います。パワポの操作はリモコンではなく直接パソコンで使う方が良いと思います。せっかくのプレゼンが行えずかわいそうなチームがいくつかあったのが気になりました。

【引率者】

玉野光南高校 細川先生

・1回目と言うことでどういうものを出せばいいのか見当がつかず、生徒も戸惑っていました。学校ぐるみで数年にわたって活動しているところと、今年初めてアイデアを考えるとところと同じ土俵で比較するのは難しいなと感じます。

レーザーポインタ使用など学校によって条件が異なっていて気になりました。(うちも使いたかったです)スライドがとまった学校はかわいそうでした。

倉敷古城池高校 金光先生

・1年生が発表しましたが、はじめての発表にあたりボランティアや発表の経験者の3年生にも話を聞くなどして、校内でボランティア活動の継承することもできました。良い機会になりました。ありがとうございました。

・発表の時に発表の生徒が PowerPoint を見るために後ろを向かなくても良いように発表者から見える位置にパソコンを置いていただけるとありがたいですね。特別賞をいただきありがとうございました。

玉野商工 小野先生

・事前に会場のサイズや寸法等の情報をお知らせいただけると発表の形や練習がしやすかったと思いました。また試食のためには2缶ずつあると様々なメニュー考えられてうれしいです。色々質問などしてお手数おかけしました。生徒はどんどん成長して活動していたので、このようなきっかけをいただきありがとうございました。

玉島商業高校 京才先生

・生徒にとっても様々な団体の意見を聞くことができ良い経験の場だったと思います。

岡山商科大学付属高校 井上先生

・今回本校は3年生の授業の関連で参加しました。3年生で進学 of 生徒は大学受験など進路準備と重なっており、教員生徒ともに準備の時間がかなり限られたものになりました。今後構内でもこの企画を知ってもらい、1年生2年生から参加できれば良いと感じました。今回に限って言うと少し時期が遅くなるか、夏前であると準備の時間がゆとりあるものになったかと思います。

倉敷鷲羽高校 岡田先生

・缶詰のサンプル送付ありがとうございました。送付からスライド提出の期間が短かったように思います。この期間は長くっていただけると試作などできてありがたかったです。たくさんの学校のアイデアを見ることができ、生徒共々大変勉強になり、今後に活かせそうです。ありがとうございました。

西大寺高校 細川先生

・このたびは貴重な機会をいただきありがとうございました。パワーポイントのスライドがうまく表示されない学校が複数あったのが残念です。

子供の貧困問題ではなく高齢化社会の問題も OK だったのでしょうか。どのような内容が求められているのかがもう少しはっきりしているとありがたいです。

岡山学芸館高校 大谷野先生

・素敵なコンテストの企画・運営をありがとうございます。岡山県内でこのような機会があることに感謝いたします。今後とも活動を応援しております。